

三陸の海を放射能から守る  
岩手の会

ミニコミ通信 第25号

http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm

《岩手の環境 / R I 廃棄物 / 再処理》

http://briefcase.yahoo.co.jp/k\_imag

《まった再処理分庫》



2006 (平成 18) 年

10月 4日

編集事務局 S.Oshida

TEL・FAX

019-623-1636

郵便振替

02240-5-102650

# 使用済み核燃料から 「再処理」とは「プルトニウムを取り出すこと」

京大原子炉実験所

## 小出裕章先生講演会



九月三十日(土)、六ヶ所再処理工場は岩手に何をもちたらずのか」というテーマで京都大学原子炉実験所の小出裕章先生による講演会が開催されました。

盛岡市勤労福祉会館大ホールに集まったのは、約百人。「豊かな三陸の海を守る会」と「三陸の海を放射能から守る岩手の会」の会員や、漁業者、消費者、県・市町村議会議員、さらには、県外の市民など多様な参加者でした。主催の「開催百人委員会」には百三人の結集が見られ、運動が力強く前進していることが確認されました。



小出裕章先生

『再処理』という言葉にだまされない理解を  
百人委員会  
森純子さん挨拶

まず開会の挨拶に立った森純子さんは「アクティブ試験によって八月までにトリウムだけでも八十五兆ベクレルの放射能廃液が流されました。日本原燃に、岩手県漁連、市町村、いわて生協、市民団体などから、説明責

任を果たすように要請書を送られていますが、日本原燃は応じようとしません。

八月十八日深夜、六ヶ所工場内の大気観測モニターの一つが高放射能値を示しました。百五十メートルもある煙突から、放射性ガスが地表に漂ったと見られます。以来一ヶ月間、使用済み核燃料の「せん断」が休止されています。

小出裕章先生は多くの放射能測定の研究を続けてこられました。田老海岸のワカメの放射能測定もしていただきました。

『再処理』という言葉は「放射能を減らすための処理」などと良いイメージでとらえている人もいます。ぜひその辺も分かるように先生に教えて頂きたいものです」と挨拶しました。

『原爆製造』計画から『再処理』まで

小出裕章先生は、「原爆製造」から「再処理」に至る「核」を巡る歴史を分かりやすく説明しました。すなわちアメリカのマンハッタン核開発計画

は、膨大な資金をつぎ込んで、当初、ウラン235濃縮による原爆をめざしました。しかし、その後、原子炉を使って燃えないウラン238に中性子をあてて作る「プルトニウム原爆」の方が簡単に安くできることが分かって来て、それが核爆弾製造の主流になりました。原発の使用済み核燃料には「燃えないウラン」から生まれたプルトニウムが含まれており、それを取り出すのが「再処理」なのですが、プルトニウムを燃やす技術(高速増殖炉)は世界中で挫折しており、実現の見込みの無い技術であると話しました。再処理工場からの廃液は、一日あたり百万トンの水で薄めない限り原発の廃水濃度基準を満たせない」と指摘し、廃液で三陸の海が取り返しのつかない汚染に曝されると強調しました。

参加者から支援の声

出席者から質問や意見が出され「止めよう!再処理」について正しい認識が深められました。四人から「感想アンケート」が回収され、運動への共感が寄せられました。

# 小出裕章先生講演まとめ(上) 六ヶ所再処理工場は 岩手に何をもちたらずのか

## 東京大空襲と広島・長崎

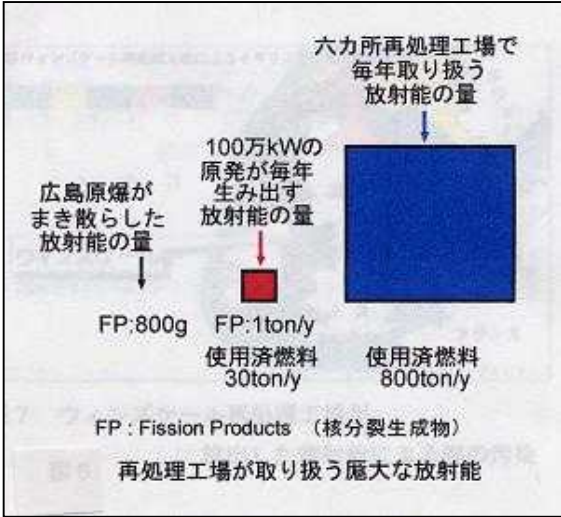
小出先生のご出身は東京浅草。お話は、東京大空襲と広島長崎の原爆の惨禍との比較から始まりました。

東京大空襲は三四四機のB29によって、火薬一六六五ト相当の爆弾・焼夷弾が落とされ約一〇万人の死者を出しました。一方広島・長崎の犠牲者も一〇万〜二〇万という膨大なものですが、ア

メリカは、わずか三機のB29で、広島はウラン約十五キログラム(リトルボーイ)、長崎はプルトニウム約十キログラム(ファットマン)ほどの核爆弾で攻撃しました。この違いが、「核エネルギー」の本質を示しています。

## 天然ウランのほとんどは「燃えないウラン」

アメリカの原爆開発計画は、当時の日本の年間国家予算に匹敵する二〇億ドルもの資金を投じ



広島原爆の核分裂生成物(死の灰)は800g。六ヶ所工場で取り扱う核生成物は年間約27ト。約3万3000倍になる。

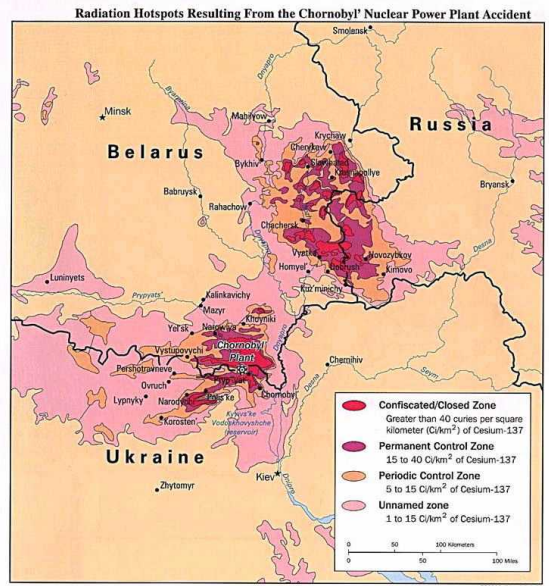
て、天然ウラン中の「燃えるウラン235」を抽出する技術の開発から始まりました。しかしこの技術は難しく、三年かけても「リトルボーイ」一発分しか抽出できなかったわけですが、むしろ原子炉で「燃えないウラン238」に中性子をあてて「プルトニウム」をつくり核分裂させる方式の方が極めて簡単安上がりであることが分かりました。

「夢の核燃サイクル」

一九六八年、小出先生は「夢の核燃サイクル」を信じて原子力工学を専攻しました。天然ウランを最大限利用できるならば、資源のない日本にとって有効と思っただけで

## プルトニウムを利用した「夢の核燃サイクル」

しかし、勉強すればするほど、プルトニウムの利用は危険であり、「夢の核燃サイクル」は幻想であると気がつきました。プルトニウムは、肺に吸入すると一億分の5で年間許容量を超えます。人類が遭遇した(作り出した)最強最悪の毒物を利用した発電など危険こ



「ゴーストタウン・チェルノブイリの映像」エレナのチェルノブイリへのバイクの旅 より

の上ないものであり、計画自体成り立ちません。

## チェルノブイリの広大な「管理区域」

約四〇万人は強制的に避難させられたまま帰る事が出来ずにいます。また、約五〇〇万人が避難もままならず、そのまま暮らし続けています。

小出先生は放射能を扱う技術者ですから「放射線管理区域」内で仕事を

## 東海村JCO臨界事故の示すもの

講演当日の九月三〇日は一九九九年の茨城県東海村JCO臨界事故からちょうど七年目でした。

この事故では、一八グレイ、一〇グレイもの強い放射線を浴びた二人の労働者が悲惨な死を遂げました。一般的には8グレイでほとんど全ての人

が死に至るのが分かっています。この時放出され

たエネルギーは体温を千分の二度上昇させる程のわずかなものでしたが、その時放出された放射線は、その場にいた二人に致命的なダメージを与えました。

放射線の持つエネルギーが、DNAを含め細胞の構成分子をずたずたに引き裂いてしまったため回復不能になり亡くなったのです。

(次号に続く)

(まとめの文責・大信田)

## 映画『六ヶ所村ラプソディー』上映情報

東京  
「ボレボレ東中野」  
劇場公開  
十月七日より

青森

「十和田市・市民文化センター」  
十月十五日(日)

盛岡市永井

「キャラホール」  
・小ホール」  
十一月二十六日(日)

十四時

十八時(鎌仲監督トークあり)

託児所あり(要申し込み)